

昨夜（4/7）の23時30分頃の地震、再び案じていただいていると思いますので、まずは無事だったことを報告します。

3/11の大震災同様の揺れを感じ、もちろん庭に逃げ出しました。

直後ライフラインは無事でしたが、今朝はどうか？と心配でしたが電気、水道、ガスとも大丈夫でした。今朝の報道では、市内の数ヶ所で停電やガスがストップし断水した地区もあるよう。

ようやく復興の兆しがみえてきていただけに、こんなに強い余震がまたくるとは…。また強い余震が来るかもかも…と思うと、復興への気力が萎えはしないかと心配です。

さて、ガソリンも通常に給油できるようになり、昨日、山元町の知人を見舞おうと出かけ、途中に亘理・鳥の海周辺の津波被害地域へ寄り道。

道路以外の瓦礫は手着かずの状態のようで、地域の方や壊れた家の中で何かを探す方の姿を見ると、言葉もありません。

そのお姿を見にすると写真を撮る気もおこらず、お姿のない場所で数枚シャッターを押すのがやっと…。

家内は、被害のなかった我が家周辺とのあまりの違いにショックなようで、「もう見たくない」と言うのを「もう少し、もう少し」と港近くまで行きましたが、家内は「お気の毒」といって車の外に出て見渡すことはしませんでした。

結局、お互いに気持ちが落ち着きそうにないので、知人を見舞うのは後日改めて…ということに。

今朝の新聞に載っていた避難所で過ごす方の「最近、被災地へおもしろ半分に来て、写真をとってる人がいて、そういうのはやめてほしいなあ。つらいです。」の言葉や、行方不明者の捜索や瓦礫撤去作業の邪魔になる野次馬の車が多くなってきたことから、行方不明者の捜索に行く関係者に許可証を発行し「許可のない地域外の車の通行規制」の記事に、「さもありません」と思い、知人の見舞い以外に被災地を訪れるのは控えようと思う。

あの一瞬に逃げ遅れた方も逃げられた人も、それぞれどんなに大変だったか…。やはり報道で見るのと、実際に見るのとでは全然違います。

昨夜の強い地震は結果的に大きな津波を起こしませんでした、もし昨日の被災地を訪れていた時にあったら、自分たちはどう行動したか……。

被害状況に目を背けることなく、この現実の背景にある被災した人々の人生に想いををはせることから、何かを学び取らねばと、改めて思います。